

Les artistes de Niigata

パリに生きる  
vivant à Paris  
新潟の  
作家たち



2018年

1月27日[土] ▶ 3月11日[日]

村山眞 (ガラスアート)

村山京子 (帽子デザイン)

水島優 (写真)

風間イオベール 偕子 (絵画)

[ 開館時間 ]

午前10時～午後5時 (観覧券販売は午後4時30分まで)

[ 休館日 ]

月曜日 (ただし2月12日、3月5日は開館)、2月13日 (火) 休館

[ 観覧料 ]

一般700円 / 大学・高校生500円 / 中学生以下無料

※ 有料20名以上は団体料金で2割引

※ 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料 (手帳をご提示ください)

※ 新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券持参で2割引

※ 3月4日開催「ヴァイオリンとピアノのデュオリサイタル—ピアノ演奏、成嶋志保」

( 秋葉区文化会館 ) のチケット半券持参で100円引

水上貴博 (絵画)

清水伸 (絵画)

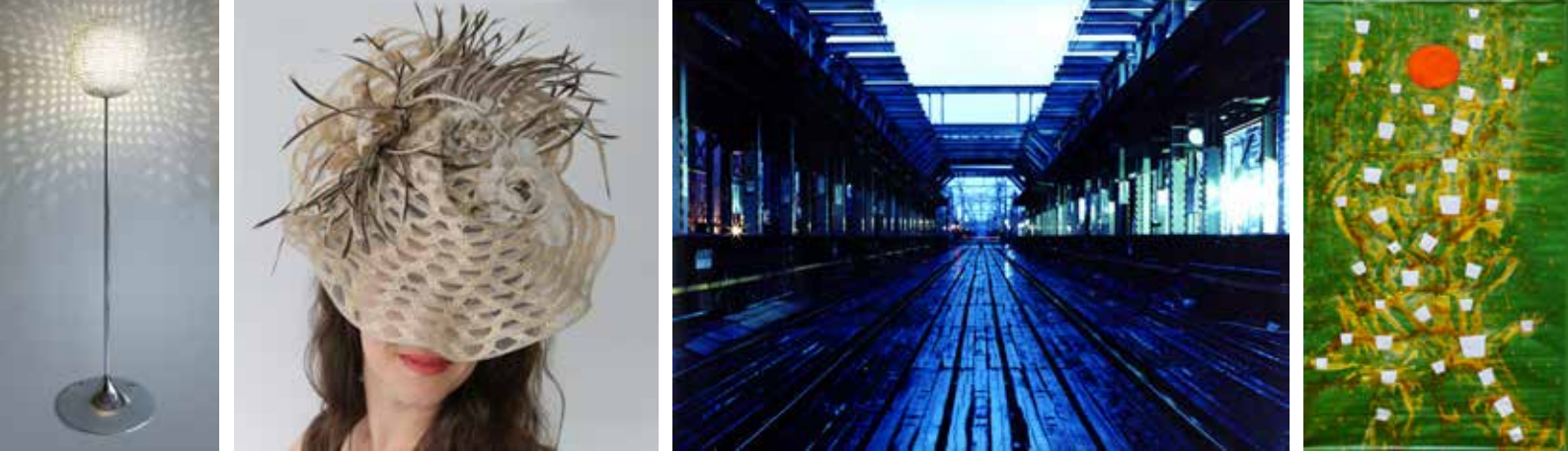
原田哲男 (彫刻)

NAM  
NITSU ART MUSEUM

新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1  
花と遺跡のふるさと公園内 (新潟県立植物園となり)  
TEL.0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

[ 主催 ] 新潟市新津美術館 [ 共催 ] 新潟日報社、BSN新潟放送  
[ 後援 ] 朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、  
NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、  
FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ほかほかラジオ  
[ 協力 ] 新潟・フランス協会



Les artistes de Niigata vivant à Paris

# パリに生きる新潟の作家たち



1	2	3	4
5	6	7	

フランスに拠点を置き、パリを中心に世界で活躍する作家7名による展覧会を開催します。彫刻、絵画、写真、デザインなど、それぞれに異なるジャンルで作品を制作する出品作家は皆、新潟ゆかりがあります。新潟市新津美術館ではこれまで継続して、新潟と関連があり地域で親しまれる作品や作家に焦点をあてた展覧会を企画してきました。本展では、活動の起点のひとつである新潟とつながりを持ちながら、世界をフィールドに活躍する7人の作家の、個性と特色あふれる多彩な表現を紹介します。

1. 村山眞 無題 2008年 フロアランプ / 2. 村山京子 《Le chapeau Bibi》2012年(2015年再制作) ヘッドドレス / 3. 水島優 《La ligne de chemin de fer》2003年撮影(2016年プリント) Cプリント / 4. 風間-オベール 偕子 《より遠方に》2014年 アクリル、カンヴァス / 5. 水上貴博 《Ferme(農屋)》No.081304 2008年 ミクストメディア、カンヴァス / 6. 清水伸 《パレンバン・リマール》2003年 油彩、カンヴァス / 7. 原田哲男 《スカイマウンテン》2000年 大理石

## 村山眞 (ガラスアート)

1949年東京生まれ、父方の郷里が新潟。化学薬品会社に勤める傍ら、独学でステンドグラスを制作。2004年に渡仏し、ステンドグラスの制作と修復を行うパリの工房にて研修。ティファニーガラスの技術を用い、光源を備えて発光するガラスアートを制作し、フランス各地やロシア、東京、金沢などで個展、グループ展を開催している。

## 村山京子 (帽子デザイン)

1957年新潟市生まれ。23歳で渡仏、高級帽子アトリエでシャネルやディオール等の帽子制作に携わる。86年フランス国立高等美術学校卒業、88年パリ第8大学修士課程修了。2002年文化庁在外研修員として再び渡仏後、パリを拠点に独立。近年は国立劇場コメディーフランセーズやC.ルプタンと契約し舞台やモードの場で活躍しながら、展覧会でも作品を発表している。

## 水島優 (写真)

1983年新潟市生まれ。2004年からパリを中心に写真家として活動。雑誌や広告の仕事と並行して、歴史的、哲学的なテーマを視覚化、実体化するという方法で写真作品を制作。テーマごとに素材や技法を選択し、紙への印刷だけでなくガラスなどの素材や銅版画の技法を用い、様々な表現手法を展開する。パリや東京での個展、公募展等で発表している。

## 風間-オベール偕子 (絵画)

1945年旧南魚沼郡六日町生まれ。75年に渡仏しパリにて画家として活動。フランス国籍取得後、78~82年まで家族に伴いナイジェリアで暮らし、大自然とアフリカ民族の文化の中で創作活動を展開。2009年にはモルドヴァ共和国国際ヴィエンナーレでグランプリを獲得する等、フランスに帰国以降もヨーロッパ、アメリカ、日本の各地で作品を発表している。

## 水上貴博 (絵画)

1941年岐阜県中津川市生まれ。武蔵野美術大学卒業。80年にパリへ渡り、画家として活動を本格化。フランスを中心とするヨーロッパ各地や東京、大阪、岐阜、中津川、妻の故郷である新潟で精力的に個展を開催。フランスのサロン展でも招待出品を重ねる。エヴリー市高等裁判所、ヴァリー・シャヤン市やコルペイユ・エソンヌ市のカルチャーセンターに作品所蔵。

## 清水伸 (絵画)

1947年旧佐渡郡相川町生まれ。武蔵野美術大学で山口長男に師事。77年にパリへ拠点を移して以降、画家として日仏両方の地で制作と発表を重ねる。直線的な色面によって、色彩を光学的な実体として表現する作風を展開。近年は書から着想を得た曲線による絵画作品に挑戦している。新潟市美術館や新潟県立近代美術館、万代島美術館に作品が所蔵されている。

## 原田哲男 (彫刻)

1949年旧新津市生まれ。多摩美術大学彫刻科卒業。73年に拠点をフランスに移す。83~2012年まで国立ヴェルサイユ建築大学助教授。素材を直に彫る作品を主に制作し、ヨーロッパ、アジア等世界各国の展覧会や彫刻シンポジウムに出品を重ねる。近年は「地球を縫う」をテーマに、新潟市内、秋田、東京、フランス各地に記念碑的な大規模公共彫刻を設置。

## 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2月11日(日)、3月4日(日) 各日午後2時~(30分程度)  
会場：新津美術館展示室内  
申込不要/無料(ただし当日の観覧券が必要です)

## ヴァイオリンとピアノのデュオリサイタル——ピアノ演奏、成嶋志保

日時：3月4日(日) 午後4時開演/会場：新潟市秋葉区文化会館  
主催：プロジェクト・ロワール/共催：新潟市新津美術館  
料金：(一般) 前売2,500円、当日3,000円、(学生) 1,500円  
※本展のチケット半券持参で当日券100円引



## ●新潟市美術館の展覧会(TEL.025-223-1622) 野口久光 シネマ・グラフィックス 2018年1月10日[水]~3月25日[日]

### 新津美術館のやさしいサービス

#### ●こどもタイム

会場に音楽が流れます。親子で会話を楽しみながらご鑑賞ください。  
第1・3木曜日・日曜日(2月1日、4日、15日、18日、3月1日、4日)  
午前10時~午後1時

#### ●託児サービス(無料)

専門スタッフがお子様をお預かりします。  
第2・第4の木曜日・土曜日(1月27日、2月8日、10日、22日、3月8日、10日)午前10時~12時  
対象：生後6ヶ月~就学前のお子様(定員3名程度、先着順) 申込：利用の3日前までに電話(0250-25-1300)でお申込みください。

### [交通のご案内]

【JR】●JR古津駅から徒歩約25分。●JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分。【お車】●会津若松方面から、磐越自動車道新津ICより約20分。●新潟市街地方面から、磐越自動車道新津西スマートICより約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りにはできません)。【バス】●JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」(発車時刻9:25、13:10)に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩約5分。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行き」(発車時刻12:45、平日のみ運行11:30、15:30)に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。●JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」(発車時刻11:49、15:34)に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩約5分。もしくは新潟交通バス「新津駅行き」(発車時刻12:13)に乗り、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。



## 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1  
花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)  
TEL.0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

100円割引券  
パリに生きる  
新潟の作家たち  
当日券のみ  
5名様まで  
割引券不可